

南第一小学校 新たな学校づくりの今後の進め方について

現在、新たな学校づくりに関する検討は新たな学校づくり基本計画推進協議会（以下、推進協議会）で行っています。しかし、仮校舎に移転後は、仮校舎や新校舎における教育活動の検討・対応が議論の中心となるため、2027年度からは学校運営協議会に議論の場を移行したいと考えています。

1 これまでの検討

新たな学校づくりに関する検討は、学校運営協力者の代表、保護者の代表、地域の代表、教職員の代表の方々と構成している会議体で、様々な議論や検討を行ってきました。2022年5月の基本計画検討会（以下、検討会）設置にはじまり、2023年度からは推進協議会に移行し、現在に至っています。

推進協議会は、新校舎使用開始の2030年3月末までを設置期間としながらも、仮校舎への移転を一つの目標に検討を進めてきました。

<これまで検討してきた主な内容>

- 施設整備（仮校舎、新校舎の整備コンセプト）
- 通学路（仮校舎期間の通学路、新校舎使用開始時の学区変更に対応した通学路、安全対策）
- 通学負担の軽減
- 引き継ぎたいもの・こと（新校舎へ引き継ぐ物の整理や、引き継がない物の記録の残し方）
- 避難施設

2 仮校舎移転後の検討

仮校舎移転後は、仮校舎での学校運営が始まった中で生じる課題が議論や検討の中心となります。

そこで、新たな学校づくりに関する検討に、これまで以上に学校運営協議会の委員の方に関わっていただき、学校運営の一部として、学校内で主体的に検討を行う体制にしていきたいと考えています。

以上のことから、2026年度の推進協議会は、学校運営協議会での議論への移行に向けた準備期間とし、推進協議会は2026年度で終了し、2027年度からは学校運営協議会で新たな学校づくりに関する議論を行います。

3 2027 年度以降の進め方

学校運営協議会はこれまで通りの仕組みで開催していただき、その中の議題の一つとして新たな学校づくりを扱っていただき、議論や検討をしていきます。

また、市教育委員会による伴走支援は継続し、学校運営協議会への参加や、庁内連携の窓口として校長・副校長と調整をします。

(1) 現在の学校運営協議会の仕組みの中で新たな学校づくりの議論を行う

- 会議形式は、基本的に現在の学運協と同じ形で行う。
- 「新たな学校づくり」が議題の一つに追加される。必要に応じて、会議当日に担当課が報告、説明を行う。

(2) 市教育委員会の伴走支援（会議当日までの調整）

- 新たな学校づくり推進課が窓口となり、学校や各部署と調整を行う伴走支援をしていく。
 - 学校管理職と新たな学校づくり推進課とで、課題の共有や議題の調整などを行う。
- ※学校運営協議会の運営や地域学校協働活動については、これまでとおり指導課及び学校支援センターが窓口となり支援をしていく。

<参考>2026 年度の推進協議会の予定

2026 年度の推進協議会は、年 3 回の開催を予定しています。

仮校舎移転に向けた取り組み等について議論するとともに、新校舎建設に向けた進捗状況などを共有させていただく予定です。

回・開催月	議題（予定）
第 1 回 2026 年 7 月 7 日	① 仮校舎建設工事の進捗状況について ② 新校舎の設計について ③ 仮校舎への通学路について ④ 引き継ぎたいもの・こと（旧校舎の動画撮影等）について ⑤ 2026 年度の推進協議会について
第 2 回 2026 年 11 月 17 日	① 仮校舎建設工事の進捗状況について ② 仮校舎移転に向けた取り組みの進捗状況について ③ 仮校舎への通学路について
第 3 回 2027 年 2 月 9 日	① 仮校舎建設工事の進捗状況について ② 仮校舎移転に向けた取り組みの進捗状況について ③ 仮校舎への通学路について ④ 引き継ぎたいもの・こと（旧校舎の動画完成）について ⑤ 学校運営協議会への引継ぎに向けた推進協議会のまとめ